

周防大島町総合体育館陸上競技場・八幡生涯学習のむら・日本ハワイ移民資料館・宮本常一記念館

日本ハワイ移民資料館

ハワイで
生きた証

広島の方から、「ハワイ生まれの父が持ち帰っていたパノラマ写真を寄付したい、移民資料館で役立てて欲しい」と申し出がありました。祖父がハワイに移民、ホノルルでサトウキビ農場の労働に従事した後、マウイ島の伯母の中島鮮魚店関係の仕事をしたとのこと、いただいた中の一枚が

その鮮魚店開店記念の写真でした。写真の受け入れと同時に経験談もお聞き（記録等）し、移民という形で、異国で汗水流して働いてきた人の足跡がまたひとつ資料館に記録されました。

資料館に展示や保存されているハワイでの生活用品に、サトウキビ農場の労働で使われていたナタ「ケー・ナイフ」や「クワ」があります。移民の際、渡された道具が一本のクワだったという話もあり、労苦がしのべれます。その他には、石工の技術を持っていた者が水路工事に使ったであろう「測量器」、着物を入れ



昭和の初め頃、久賀は大坂商船の寄港地で港町として発展しました。周防大島の玄関口として多くの旅客が行き来し、旅館や料亭が立ちならんでいました。「久賀小唄」はそんな昭和10年に、町を広く紹介する歌として誕生しました。歌詞には久賀の名所を巧みに詠み込んで、芸者さんによって踊りもつけられました。旅客でにぎわう宴席でも歌い踊られたことでしょう。当時の人々は久賀の

どこを見どころと考えたのでしょうか？今回の展示では「久賀小唄」にそって昭和初めの久賀をご紹介します。（古賀）

【期間】4月9日（火）～7月28日（日）

9時～16時 観覧無料

【休館日】月曜（祝日の場合はその翌日）

開催中

久賀小唄の世界

昭和10年代の久賀と観光

八幡生涯学習のむら



たであろう「柳ごおり」や帰国の時にきつとたくさんの土産や洋服を入れたであろう大きなトランク（トロンコと呼ばれていた）などがあります。それらは海を渡った人達の「移民」という生き様、足跡といえます。これからの資料館では、こうした移民の実態を知る上で貴重な記録の保存展示を続け、後生に継承していきたいと思っています。（井倉）

創意工夫した運営



【場所】学びの間

◆講演会「久賀で歌われた歌」

【日時】5月26日（日）14時～

入場無料、直接会場へお越しください

【場所】語らいの間

【講師】戎谷和修

【問い合わせ】0820・72・2601

2月28日、生涯学習施設管理運営の参考として、協議会視察で山口市の中原中也記念館と山口県文書館を訪問しました。

中原中也記念館では工夫した、かつ利用者や資料への配慮の行き届いた展示をしておられ、アイデア次第で施設の足りない面を補完できていることを実感しました。他に、特に若い一般の方への普及をめざした取り組みとして、中原中也をはじめとする文豪を扱った漫画を出版社とタイアップしている活動が印象的でした。

山口県文書館では所蔵資料と活用の仕方をご紹介いただくとともに、収蔵庫を見せていただきました。貴重な資料を多数所蔵しておられることもあり、その公開の仕方や資料貸出においては相手との連携をより密にするのが重要と思われました。いずれの施設も環境的に限られた中で優先すべき事柄を館内で意識共有し、最大限の活動をされており、私たちの施設にも活かしようるアイデア・工夫がありました。（徳毛）



周防大島出身の民俗学者・宮本常一はさまざまな地域で民俗学調査をおこなっています。当館では宮本が調査の過程で地域の人々に聞き書きしたノートを所蔵しており、開館以来、このノートの翻刻・刊行事業を継続してきました。そしてこのたび21巻が刊行となりました。

『宮本常一著作集』の編者でもある田村善次郎先生に協力いただき、また、一部には宮本に関心のあるボランティアの方々に翻刻作業をお願いしました。今回は宮本が吉野西奥という奈良県の南部地域を昭和14年に歩いた際の記録です。吉野西奥地域は奥深い山野地域で林業や材木の加工業を中心とした産業で発達しました。林業地帯ということもあって、山師独特の用語がまとめられている部分や狼に関する習俗が印象的に残ります。村に伝わる古文書を筆写しているのも特徴的です。宮本は後に振り返って網羅的には歩けなかったとしながらも、興味深い地域で継続調査すべきことが多いと評しています。

戦前は宮本の調査法が確立していなかった時期といわれますが、聞くべき項目が整理されています。また、分りやすい民具や部屋の間取りのイラストなどノートの随所にまとめぶりの巧みさが見られます。



す。宮本がすぐれた聞き手であったことがうかがえます。

これまで対馬や佐渡といった離島地域を中心に既刊されており。お求めの際はホームページなどでご確認ください。(徳毛)

【頒価】500円〜1300円(頁数で異なる)
【お問い合わせ】0820・78・2514

周防大島町総合体育館



回数お 数得 券な

トレーニングルーム・シャワールームの共通回数券を12枚綴り2000円+消費税で販売しております。財布に入るカードタイプで、「毎回の支払いがなくなるのが便利で通いやすくなった」とリピーターさんにも好評です。受付でご購入いただけますので、ぜひスタッフまでお声がけください。

健康的な生活を送るために欠かせないのは運動習慣があること。一般的に「運動習慣がある」とは、「1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上続けている」ことを指しています。現代の日本人は、慢性的な運動不足の人が非常に多いといわれています。そこで天候を気にせずに、気軽に始められるトレーニングで運動習慣を身につけませんか？皆様のご利用をお待ちしております。(中村)

戦争の遺したかたち



戦争遺跡を広く取材されている佐藤正治さんが最近訪れた史跡の中で京都と柱島を主に扱った展示会を開催しました。京都のものは、日露戦後に軍歌「戦友」を作詞した真下飛泉の石碑で現在も知恩院の道端に残されています。この歌は厭戦的な歌詞と判断され、歌うのを禁止された中でも歌い続けられた歴史があります。柱島の写真は、島に残る旧日本海軍見張所を中心としています。戦局が悪化しはじめた昭和18年に設置された当時の面影を残すものとなっています。

8月にも新たな写真展を予定しています。

◆宮本常一記念館地域交流員活動

【開催日】原則毎月第2日曜日10時〜11時半
【会場】宮本常一記念館研修室

当館の地域交流員に登録することで、各自が関心をお持ちのさまざまな文化活動の場として館内の設備を利用できるほか、月1回程度で交流の機会をもつ談話会を開催しています。関心のある方はご連絡ください。(徳毛)

イベントひろば

八幡生涯学習のむら

表具講座開講のご案内

ご好評いただいております表具講座を今年

も開催いたします。講師に表具の知識や技術を解説していただきながら掛軸を実際に作成していく講座です。(古賀)

【日程】5/18(土)、19(日)、6/2(日)、8(土)、15(土)、16(日)
【時間】13時半〜16時半
【参加費】5000円(表具材料費)
【場所】語らいの間
【講師】金本豊(表具工指導員・一級技能士)



【問い合わせ】0820・72・2601

毎月第一・三の水・木・土曜日に開講。初心者の方には基礎から学べる入門講座がおすすめです。(古賀)

◆本格講座

【開講日】①毎月第一、三水曜、②毎月第一、三水曜、③毎月第一、三土曜
※時間はいずれも13時〜15時
④毎月第一、三水曜19時〜21時
【受講料】1500円(年間一括払い15000円)
材料費…粘土代1kgにつき200円

◆入門講座(初心者向け)

陶芸の基本技術を習得するコース。本格講座の4つの開講日のいずれかに連続3ヶ月ご参加いただけます。

※受講料は同じ。別途、入会金1500円が必要です。

